

いわみざわ



発行所 隊友会岩見沢支部
編集 陸上自衛隊岩見沢駐屯地
印刷所 福祉村
岩見沢市栗沢町最上350
TEL (0126) 45-2721

第21代第12施設群長兼ねて岩見沢駐屯地司令

やまね

しげき

山根 茂樹 1等陸佐 着任



着任のご挨拶

この度、第12施設群長を兼ねて岩見沢駐屯地司令に着任しました山根1佐であります。

北海道勤務は、約12年前に中隊長として南恵庭駐屯地で勤務して以来であり、非常に懐かしい思いであります。

しかしながら、当時とは状況も変わり、国外においては、経済に支えられて戦力を増強し海洋進出している国や近年、国力を回復させ近代化に努めている国、新体制になつても引き続きミサイル開発等を続ける国等、北海道周辺の東アジア情勢はより不透明であり、国内においても地震・津波、大型台風・ハリケーン、大雪害等による災害の危険性は増大しており、道民・市民等からはこの迅速な対応かつ安心・安全のための抑止・対処が期待されているものと認識しております。

したがって第12施設群長の着任にあたり「時代の変革に合わせて意識改革し、常に前向きにとらえて業務を実施せよ」という趣旨で方針（スローガン）を「前進」としました。

また具体的には隊員に二つのことを要望し、一つは、「いかなる任務も完遂せよ」として、「使命に対する自覚と誇り」「技術の練磨と創意工夫」「諸職種協同」

プロフィール

昭和44年10月26日生 岡山県出身
愛媛大学卒（土木）工学修士

<主要部隊歴>

- 4. 3 幹部候補生学校
- 5. 2 第7施設群
- 8. 3 防衛大学校理工学研究科学生
- 10. 3 第7施設群第349施設中隊
- 11. 3 第304施設隊
- 12. 3 幹部学校（技術高級課程）
- 13. 3 第1施設群第301坑道中隊長
- 14. 2 第1次東チモール派遣施設群中隊長
- 14. 10 第1施設群第301坑道中隊長
- 15. 3 自衛隊兵庫地方連絡部
- 17. 8 陸上幕僚監部防衛部情報通信研究課
- 20. 3 陸上幕僚監部装備部開発課総括班
- 23. 8 幹部学校（幹部高級課程）
- 24. 3 統合幕僚学校（統合高級）
- 24. 8 陸上自衛隊研究本部研究員
- 25. 4 陸上幕僚監部教育訓練部訓練計画課
器材・演習班班長
- 27. 3 第12施設群長兼ねて
岩見沢駐屯地司令

を常として我々は身を挺して積極的に任務の必遂を期さなければならないのであり、各人・各級指揮官があらゆる場面において念頭におき勤務せよ、としました。

二つ目は、「現状を打破する意識を持つて」であります。現大綱・中期において陸自は「陸自創隊以来の大改革」として大幅な部隊新編・改編が予定されており、第12施設群においても改編が予定されているからです。

また、北海道においては、将来内地の部隊が来て訓練できる環境を構築するための「北海道の道場化」を推進しなければならぬため、その基盤整備の中核部隊の一つが第12施設群であり、このような大事業を達成するためには、意識改革が必要であり、常に新たな取組みにチャレンジしていくことを隊員に期待したからであります。

次に駐屯地司令としては「地域の安心・安全に寄与し、信頼される駐屯地」をスローガンに、よき伝統を継承しつつ、地域の安心・安全に尽し、積極的に関域貢献して、道民、市民及び関係機関等からより信頼される、「おらが町の駐屯地」となるよう隊員とともに邁進していきます。

3月22日、第20代第12施設群長兼ねて岩見沢駐屯地司令 末廣1佐の離任式を挙行了した。

末廣1佐は、平成25年8月に着任し、群長統率方針として「百万一心」、駐屯地司令としては「備えよ」を要望事項として示し、在任間は岩見沢・三笠両市との間で隊員の留守家族支援及び災害時等における連携に関する協定の締結、「岩見沢駐屯地友の会」の発足等に尽力し、隊冬季競技競技会では4連覇を達成する等輝かしい功績を残した。

見送りにあたっては駐屯地全隊員が集まり、群第1科長 千葉1尉の発声による万歳三唱を受け、多くの思い出とともに新任地である目達原駐屯地九州補給処へ向かった。

第20代第12施設群長
兼ねて岩見沢駐屯地司令
末廣1佐 御米転



平成27年度自衛官候補生課程入隊式

**立派な自衛官を
目指してスタート！**

4月5日、第12施設群（群長・山根一佐）は松野哲岩見沢市長、小林和男三笠市長、櫻庭誠二月形町長をはじめ、多数の来賓の参加をいただき、平成27年度自衛官候補生課程入隊式を挙行了した。

今年度入隊した自衛官候補生は18歳から26歳までの28名であり、着隊時とは見違えるほどの動作で、自衛官候補生らしく元氣瀧刺と宣誓を行った。ご家族は、短期間での我が子の変わりように大変驚き、喜びを隠せない様子であった。

群長は式辞の中で、この3カ月間、自衛官候補生として己を律し、仲間を信頼して必要なときには一致団結して訓練をやり抜くよう「規律」「団結」「信頼」の三点を要望した。

入隊式終了後は、祝賀会食、懇談を行い、久しぶりに会った家族の前で緊張がほぐれた自衛官候補生たちは、制服姿の写真撮ったり、着隊してからのことなどの話に花を咲かせた。

今日から28名は、厳しくも一生の思い出となる3カ月間に突入し、立派な自衛官を目指して力強くスタートを切った。



元氣いっぱい宣誓



岩見沢市長 松野哲様



三笠市長 小林和男様



辞令書の交付



多数の父兄に見守られて

隊友会だより

平成26年度「隊友の集い」

3月14日、平成26年度最後の恒例行事「隊友の集い」を開催しました。

年一度、隊友会員のみが一堂に会する「隊友の集い」は、昨年に比し、1.5倍の会員の参加がありました。今回は新会員の参加はありませんでしたが、数年前に参加した人が数人おり、非常に懐かしく元氣に会話が交わされておりました。

懇親会に入る前に温泉・囲碁・麻雀・休憩室での会話等でのんびりと心と体のリフレッシュを図っており、何となく必要です。一日ゆったりする日も必要です。懇親会では、支部長の白根さん挨拶、相談役の田中さんの乾杯を含め近況・趣味等を発表しました。退官後も各分野で活躍されていることに感銘を受けました。その後、元支部長の細川さんの和歌の披露、ビンゴゲーム、カラオケ等で盛り上がり、和やかに楽しく懇親を深め、北広島市から参加された江連さんの乾杯で、盛会のうちに「隊友の集い」を閉じました。



北村温泉にて行われた「隊友の集い」例年より多くの会員が集まりました。

わたしの趣味

業務隊厚生科 事務官 厚谷 萌

私の趣味は、バイクです。平成24年に普通自動車2輪免許を取り、岩見沢に転入して来た平成25年には大型自動車2輪の免許を取りました。

バイクに乗ろうと思ったきっかけは、ライダー同士がすれ違うときに手をあげているのを見てかっこよく感じ、私もやりたい！と思ったからでした。ただそれだけの理由でバイクに乗った私は、その後とっぴりバイクにはまってしまう、今では年に数回十勝スピードウェイに行き、サーキット走行を楽しんでいます。もちろんツーリングも大好きで、北海道各地においしいものを食べに仲間とツーリングをしています。毎年、駐屯地のバイク乗り数人でツーリングをしています。一昨年は富良野・美瑛方面へ、昨年は洞爺湖の方へ、今年は積丹の方へ行こうと計画中です。バイクに乗れる方はぜひ一緒にツーリングをしませんか？メンバー募集中です！

今年も短いバイクシーズンを事故なく思いきり楽しみたいと思います。



一緒にツーリングしましょう！



第337施設中隊冬季訓練検閲

～冬季の特性を克服し任務完遂～

2月21日から27日までの間、第12施設群（群長・末廣1佐）は、岩見沢駐屯地及び北海道大演習場東千歳地区において第337施設中隊冬季訓練検閲を実施した。

21日、岩見沢駐屯地において編成完結式及び隊容検査を実施し、23日、北海道大演習場東千歳地区において状況を開始した。

本訓練検閲は、本年度における群冬季訓練の集大成といふべきものであるとともに、陣地構築においては職種協同訓練（施設）の成果をさらに発展し、あるべき姿を追求するという特性があり、スキー行進、集結地の占領、陣地構築、障害構成を主な検閲項目として2夜3日の連続状況下で部隊を検した。また、帰隊後の27日には、岩見沢駐屯地においてAARを実施し、中隊の行動等を検討して今後の資とした。

第337施設中隊（中隊長・鈴木1尉）は、今回の訓練検閲受閲に向けて、各作業における冬季の特性を克服するための創意工夫事項を、集中訓練や中隊訓練の場を活用して、受閲前の最後の最後まで練成を重ねて準備を万全にした。また、受閲期間中は雨、雪さらに一日の寒暖差が大きい等、過酷な状況であったが、そんな中でも隊員たちは戦闘モードに切り換え、強靱性を保持し、中隊長を核心として困難を乗り越え、無事任務を完遂した。



編成完結式



任務の理解度の確認



スキー行進



COPの後退に伴う通路閉塞



ライナープレートによる指揮所の構築



検閲終了後のAAR

自分は、青森県八戸市で生まれ育ちました。雪は少なく、比較的暖かいので、スキーを滑ったことがあまりありませんでした。検閲で心配だったのは、スキー行軍と「冬の寒さに耐えられるのか。」でした。できる限りスキーを練成し、先輩たちに色々聞いて、飲み物とお菓子、暖かいものを買って揃えて臨んだ冬季訓練検閲。結果、無事に帰ってくる事ができました。スキー行軍は止まらない、曲がれない自分が、たくさん転んでも立ち上がり進むことができたのは、阿部靖一3曹の「辛くなったら代わってやる。」と、自分自身もM1N1Mを引っ張っているのにつけてくれた一言のおかげでした。もの凄く胸が熱くなったのを覚えています。地雷埋設などの作業では、事前に経路についてたくさん勉強したのに歩哨を頼まれたときは悔しくなりました。しかし、歩哨も立派な任務なので、かなり厚着をし歩哨についたところ、急遽経路係になりました。最初はよかったのですが、気が付くと汗だくになっていました。服を脱いだら脱いだで汗が冷え始め、体がガクガク震え始め停止。きれいな空を眺めて思いました。「俺は何をやっているんだらう。」と。眠さと寒さを体を動かすことでかろうじて耐え、無事に朝を迎えることができました。喉が渇き水を飲むとしたら凍っている。自分は必死で雪を口に含み渴きを潤しました。作業はスムーズに進み、期限までに任務を終え、やっとなることができた仮眠は本当に気持ちよかったです。この冬季訓練検閲で自分は成長できたか正直わかりません。多分、足手まといだったことの方が多かったかもしれません。しかし、ひとつ言えることは、経路に関してとは同期には負けません。一つ一つ訓練を終えるたびに、何か一つでも覚えたら、キツイ訓練をやっている意味があると思います。これからはもう少しずつ覚えていき、自分を成長させることができるように頑張ります。最後に、本当に寒かったです。



冬季訓練検閲に参加して

第337施設中隊

1等陸士 根井 俊哉

定期異動

★転出★

【第12施設群】

本部 1佐 末廣 和祥（九州補給処・目達原）

曹長 原田 義幸（105施器・南恵庭）

1曹 折田 裕昭（札幌地本・江別）

【第335施設中隊】

1曹 石田 圭一（岩見沢駐業・岩見沢）

【第336施設中隊】

1尉 鳥越 宣光（施設学校・勝田）

2曹 酒谷 裕樹（303夕車中・南恵庭）

【第337施設中隊】

3尉 渡邊 敏（岩見沢駐業・岩見沢）

【第302坑道中隊】

1曹 中村 好文（105施器・南恵庭）

2曹 松坂 肇貢（施設学校・勝田）

【第2直接支援中隊】

1尉 長嶺 哲夫（101施直支大・南恵庭）

2尉 野村 宣仁（防衛大学校・横須賀）

1曹 戒田 達彦（101施直支大・南恵庭）

1曹 須合 朋法（101施直支大・南恵庭）

2曹 高羽 昌治（102全支大・真駒内）

2曹 米山 務（帯広駐業・帯広）

【岩見沢駐屯地業務隊】

1曹 中園 茂樹（北海道補給処・苗穂）

【第327会計隊】

1尉 渡邊 慎二（小平学校・小平）

【第314基地通信中隊岩見沢派遣隊】

2尉 林 大剛（314基通中・真駒内）

2曹 南 良樹（314基通中・真駒内）

【事務官・技官】

行(一)4 藤田 敏弘（帯広駐業・帯広）

行(一)3 本間 浩晃（札幌駐業・札幌）

行(一)1 有吉 洸（東千歳駐業・東千歳）

★転入★

【第12施設群】

本部 1佐 山根 茂樹（陸上幕僚監部・市ヶ谷）

1曹 三上 直樹（303夕車中・南恵庭）

第335施設中隊

2曹 夏井 信也（岩見沢駐業・岩見沢）

第337施設中隊

3尉 井口 晴雄（5施群・高田）

第342施設中隊

2曹 長尾 誠（北混団・東千歳）

第312施設器材中隊

1曹 辻本 祐希（105施器・南恵庭）

第302坑道中隊

2曹 森 政人（北施付・南恵庭）

【第2直接支援中隊】

2尉 大久保英明（306施隊・高田）

1曹 中村 正人（札幌地本・岩見沢）

2曹 世取山哲也（101施直支大・南恵庭）

【岩見沢駐屯地業務隊】

准尉 小玉 明利（北衛隊・真駒内）

1曹 坂本 祥吾（北後支・島松）

【第345会計隊岩見沢派遣隊】

2尉 南出健太郎（343会計・旭川）

【第314基地通信中隊岩見沢派遣隊】

2尉 川崎 浩幸（2師・旭川）

2曹 佐藤 貴弘（314基通中・美唄）

1士 山口 雄太（314基通中・真駒内）

1士 山下 尚樹（314基通中・真駒内）

【第120地区警務隊岩見沢連絡班】

曹長 小林 孝造（119地区警務・留萌）

【事務官・技官】

行(一)4 吉田 信一（武器学校・十条）

行(一)3 塩原 和広（真駒内駐業・真駒内）

行(一)3 片山 晶子（札幌病院・真駒内）

行(一)3 小西理恵子（上富良野駐業・上富良野）

こんにちは赤ちゃん



302坑中 監物2曹
長女 晶（あきら）ちゃん
H27. 2. 7

「岩見沢自衛隊音楽まつり」を開催

— IWAMI ZAWA ドカ雪まつりとの同時開催で大盛況 —



第11音楽隊と北海道教育大学岩見沢校
「スーパーウィンズ」とのジョイントコンサート



「岩見沢駐屯地オリジナルカレー」に長蛇の列

3月1日、岩見沢駐屯地（司令・末廣1佐）は、イベントホール赤れんがで岩見沢自衛隊音楽まつりを開催した。

今年で5回目となる岩見沢自衛隊音楽まつりは、回を重ねるごとに認知度が高くなり、開演前から多くの観客が詰めかけた。

音楽まつり開催に際し、衆議院議員 稲津久様、岩見沢市長 松野哲様、三笠市長 小林和男様、月形町長 櫻庭誠二様、上富良野町長 向山富夫様をはじめ、多数のご来賓にご出席をいただき、駐屯地司令は「今回の音楽まつりは、IWAMI ZAWA ドカ雪まつりとのコラボレーションで開催しました。雪と音楽を楽しみ、岩見沢市の一大イベントとして市民の皆様に参加していただきたい。」と挨拶した。

今回の音楽まつりは、北海道教育大学岩見沢校の学生が授業の一環で活動している「スーパーウィンズ」と第11音楽隊が合同演奏を行う2部構成でステージを展開した。ルパン3世のテーマで幕を開け、ポップスや時代劇メロディーなどを次々と披露し、準備した500席に座りきれず立ち見も出た会場は、曲が終わるたびに大きな拍手に包まれていた。

また、隊員が炊事車で炊き出した「駐屯地オリジナルカレー」が来場者の好評を集め、配布時間30分前には予定数300食を超えるほどの長蛇の列ができた。

駐屯地は来年以降も市及び観光協会と連携して雪と音楽を楽しめる岩見沢市の一大イベントとして岩見沢自衛隊音楽まつりをさらに盛り上げていく。

自衛隊退職者雇用協議会

岩見沢支部

事務局：岩見沢商工会議所内
支部長：五十嵐 閣
TEL：0126-22-3445

Lounge **BerryBerry**

波田野 愛 MAMA KONOMI HATANO

ラウンジ ベリーベリー
岩見沢市3条西2丁目 アイビツタヤビル1F
Phone.0126.22.2131



千葉電気工事株式会社

代表取締役

千葉 嘉男

岩見沢市東山10丁目6番3号
電話 (0126) 24-4567 番

カラオケがなく、静かな時を過ごせるお店

スナック

Begin
ビギン

岩見沢市3条西1丁目ワールドビル3F TEL 0126-25-3758

カラオケ好きなアナタぜひウチで歌ってみませんか？

スナックB.

Begin
ビギン

岩見沢市3条西1丁目ワールドビル3F TEL 0126-25-3758

EVENT HALL

駅東市民広場
イベントホール赤れんが

多彩な催しにご利用いただける施設です。
お気軽にお電話ください。TEL 0126-22-5871

岩見沢市有明町南1番地7
株式会社 振興いわみざわ
代表取締役 北市 宗三



豊かな暮らしのかけ橋

北海道新聞 岩見沢東部販売所

株式会社 **青木・新聞店**

〒068-0005 岩見沢市5条東7丁目 電話0126-22-0444
FAX 0126-23-6350
フリーダイヤル 0120-230044 (岩見沢地区のみ)

岩見沢 **平安閣**

結婚が決まったら
岩見沢平安閣へ！

ブライダルフェア
開催中!!

館内見学は、毎日受付中！お気軽にご相談ください。

〒068-0005 岩見沢市5条東2丁目

0120-20-1143

日本生命保険相互会社

継続サポート
3大疾病保障
保険付プラン
★★★★★
5つ星



札幌支社 江別営業部
鈴木 真理子
Tel. 011-383-8450

防衛省共済組合 岩見沢支部 常駐員
沼達 美歩

〒068-0822 岩見沢市日の出台4丁目313
Tel. 0126-22-1001 内線338

001-H27-039



飲み放題 3000円 (5名様から)

岩見沢市3条西2丁目ツタヤビル4F店 主 平井
TEL 0126-(22)-8873



省エネ・節電のスペシャリスト

株式会社 **創電**

本社 岩見沢市大和2条2丁目17番地
TEL (0126) 22-1434 (代) FAX (0126) 24-9155
札幌営業所 札幌市中央区南2条2丁目3番14号SDビル3F
TEL (011) 895-7755 FAX (011) 895-7701
三笠営業所 三笠市いもきしり16-8
TEL (0126) 73-1141 FAX (0126) 73-1186

P u b
あおき

岩見沢市2条西2丁目

TEL 0126-24-8085



物流・・・

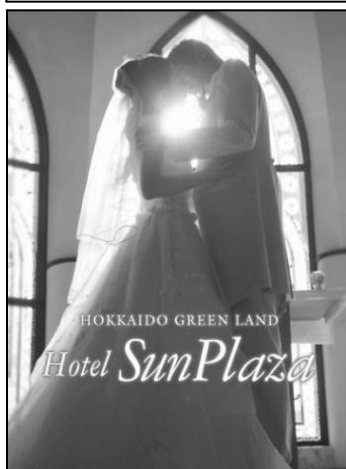
それは“まごころ”のネットワーク

本社 〒068-0115 岩見沢市栗沢町最上498-9

TEL 0126-45-2792 FAX 0126-45-3053

http://www.tokkyu-group.jp

(札幌/札幌北/苫小牧/仙台/福島/関東/中部/大阪)



Owner 柴田 薫

岩見沢市2条西1丁目
0126-25-2155

http://nttbj.itp.ne.jp/0126252155/
★フリードリンク オール¥2,500



広報紙は家に持って帰って、
ご家族にも見せてくださいね♪



旬味処

Isshin
いっしん

北海道岩見沢市4条東1丁目

Tel 0126-25-9114

ご宴会プラン
4~20名様
(お飲み物込) 2時間4,000円より
(お飲み物別) 3,000円より
承ります。

岩見沢駐屯地
ホームページ

昭和28年から現在
までの歴史や広報紙、
部隊の最新情報などを
ご覧になれます！

岩見沢駐屯地

検索

★特別企画★ 自衛隊のヘリコプターに乗ってみませんか!?

7月26日(日)岩見沢駐屯地創立記念行事でのヘリコプター体験搭乗者を募集中です。

往復はがきまたはメールで事前にお申込みいただき、記念行事当日に抽選を行います。

乗れるかどうかは、申し込みをして、さらに当日記念行事に来てみないとわからない!! ワクワク★ドキドキ★

詳しくは岩見沢駐屯地ホームページをご覧ください。たくさんのご応募お待ちしております!

6月19日(金)必着!

—北部方面施設隊冬季戦技競技会—

圧倒的な強さで4連覇!



1月26日、第12施設群(群長・末廣1佐)は南恵庭駐屯地で実施された北部方面施設隊冬季戦技競技会に参加し総合優勝を獲得した。今年度で4連覇である。

今回の競技会は群・隊グループで保有人員の40%以上が参加しアキオ曳行、部隊機動、一般走の平均タイムで競う要領であり、総力戦ともいべきものであった。

担任官第312施設器材中隊長橋本1尉は綿密な練成計画を策定し、年末年始も返上の上、選手要員を徹底的に練成した。今回の選手要員は有技者は階級、役職を問わず選考したため、中隊長、群本部幕僚、群本部勤務班の要員、群長車操縦手も練成に専念することとなった。選手要員以外の要員も選手が練成に集中できるように環境を醸成するため、特別勤務をはじめ諸勤務を積極的に担う等、優勝という目標達成のため協力した。

終了後、市内ホテルにおいて隊友会、駐屯地友の会等の方々臨席上、祝勝会を実施した。群はさらなるレベルアップを図り、5連覇を目指してあらゆる分野で精進を継続していく。



5連覇を祈念して万歳!



優勝旗等を手に凱旋



アキオ曳行 第1位 336施中

Since 1953

岩見沢駐屯地

創立62周年記念行事

2015年7月26日(日)

午前8時30分~午後3時

入場 無料

駐屯地一般開放

ヘリコプターがやってくる!

宮内隊のエンリート!

I LOVE そらち2015

「子ども広場」ふわふわが待ってる!

出店数世界一(?) あいしもの万葉どろい!

戦車に乗れる!

油圧ショベルなどの操作ができる!

場所: 岩見沢駐屯地(岩見沢市日の出4丁目313)

<プログラム>

観閲式 観閲行進 訓練展示 戦車・WAPC体験試乗 建設機械操作体験 音楽隊コンサート 子ども広場 炊事車で作るオリジナルハワイシライス無料試食

※ 当日の気象状況により、中止等プログラムを変更する場合がありますのでご了承ください。

※ 無料シャトルバスも運行予定です。

詳しくは岩見沢駐屯地ホームページをご覧ください。

お問い合わせ: 岩見沢駐屯地広報課 TEL (0126) 22-1001(内線213)

皆様のお越しを、隊員一同心よりお待ちしております!

隊友会・父兄会と 家族支援に関する協定を締結



左より
自衛隊父兄会岩見沢支部北分会 石黒武美会長 自衛隊父兄会岩見沢支部 田中均会長 駐屯地司令 隊友会岩見沢支部 白根謙一支部長 三笠父兄会 坂梨宣行会長

1月27日、岩見沢駐屯地(司令・末廣1佐)は、隊友会岩見沢支部、全国自衛隊父兄会岩見沢支部、同支部北分会等の団体と大規模災害時等における派遣隊員の隊区内に居住する家族を支援する協定を締結した。

この度の協定では、家族の安否確認のほか、買い出し、荷物運搬、除雪やタイヤ交換等、隊員が不在時は特に不便となる生活支援にも踏み込んだ内容となっている。

締結式で司令は「岩見沢市と三笠市とは、すでに留守家族支援と災害時の情報共有に関する協定を締結している。地域との協力関係がなくては我々の任務は達成しえない。今回の協定で着実に協力関係を向上させ、地域の皆様が誇りに思うよう、さらに精進な部隊を育成していく。」と述べた。

これを機に、駐屯地と各団体はさらに協力関係を深め、家族支援態勢基盤を確立する。